

## ■ 2023 年 12 月支給賞与要求について 労使協議会 各人からのコメント

### 【木南社長からのコメント】



2023 年度上期は 2022 年度下期に引き続き、予算を上回る営業黒字を計上することが出来ました。これはひとえに要員減の中、頑張っていた従業員の皆さまと組合の皆さまのおかげです。

心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。

黒字になった今、どの方向を向いて進んでいかなくてはいけないかは 7 月から 9 月にかけて一人ひとりに説明した通りです。

ポイントは技術を高め、会社の質を高め、「どうしてもレオテックスにお直しを頼みたい」というお取引先様を少しずつ増やしていく事です。

当社傘下も含め他の補整業者様をはるかに上回る技術レベルに達するには時間が必要ですが、それは利益率を落としてでも外注しを計画的に行って時間を作り出し、その時間で技術を習得していきましょう、と説明したのを覚えていらっしゃるでしょうか？

会社の質に関しては、当社は「三越伊勢丹グループの会社だから信用できる」という他の補整業者ではもつことが出来ない質を既に持っていますと説明しました。それに加えて、一人ひとりが、自分が会社を代表しているんだという意識をもってスタイリストさんに接していく事で、会社の質は更に磨き上げられていくでしょう。

赤字が出ない体質になった今、もう一度上の 2 つのポイントをみんなで考えて実行し、利益を勝ち取り、賞与も含めた処遇を改善するんだ、と同じ思いをもって歩いていきたいと思っています。

最後になりましたが、従業員の皆さまと組合の皆さま、そしてそのご家族の皆様のご健康をお祈りして今回の賞与に関する労使協議の締め言葉とさせていただきます。

### 【磯原委員長コメント】

レオテックスの賞与については、年間 2 ヶ月を念頭に都度交渉をしてきています。

今回は、要員数の減少に伴う経費削減もあつての予算を大きく上回る営業利益が出ましたが、現場は限られた要員の中で日々の業務に取り組んでいることを踏まえれば、22 年 12 月比 +0.3%、23 年 6 月同水準の平均 1.1 ヶ月は最低限の要求水準であると考えています。

そのような意味合いをご理解の上、早期の満額回答を頂きましたことは感謝申し上げます。

今後の賞与について、次回 24 年 6 月は 23 年度業績を踏まえ、平均 1.1 ヶ月に対して業績部分をどの程度プラスできるかがポイントとなります。また、その先の賞与協議については、年間 3 ヶ月を見据える中で、協議の基礎となる「賞与支給表」の労使合意・設定を目指していきたいと考えています。

そのためには、着実な業績向上と安定した利益確保が前提となることから、定期的にアクションプランの進捗に確認と、メンバー一人ひとりがやりがい・働きがいをもって働ける環境や評価制度の運用整備に取り組んでいきたいと思ひます。

